

## あとがき

本書は、前回の『春日部市の神社』に続いて、民俗信仰伝承の一つである。祖先崇拜の基本と考える各家の菩提寺をまとめ『春日部の寺院』として、作成したものである。

内容については、故老の語り伝えや、『新編武蔵風土記稿』・『武蔵国郡村誌』・各寺のご協力によって、筆者【須賀】が長い間市役所に勤務していた時代に趣味として調査した事項をまとめて、自分なりに編集したもので、知識不足から、まだ足りない所もあると思われるが、参考にして頂きたい。

【詳しいことは、それぞれの寺院に参詣の際、住職に、尋ねられたい。】

また、拙著の『かすかべ歴史余話』【春日部市広報：昭和五十二年～五十六年に所載】・『かすかべのあゆみ』・『ふるさとかすかべのルーツをもとめ

て』・『御名代春日部調査資料』・『幻の馬車鉄道』・『郷土史かるた』・『春日部市の神社』が、各小・中学校と市立図書館に収納されているので共に参考にされたい。

調査の中で、寺の詳しい歴史が不明なのは、明治初期までは、住職等は、肉食・妻帯・長髪等を禁止されていたので、歴代の和尚の中には功績によって、寺の住職の移動を本山から命令されていたので、『古文書』等も余り存在していないことと、各寺の栄枯盛衰等による事由や火災による焼失等にも大いに関係している。

『太政官布告』明治五年の文面

自今僧侶肉食妻帯蓄髪等可勝手之事云々と、布告されている。これにより寺の住職は世襲となり、現在にいたっている。このような事情によって、昔の寺歴の不詳の理由が理解できる。

平成八年十月

須賀芳郎